

資料の整理まとめ

NO.3

名前

点

- ◆ 右の図は、A中学校のP組 25 人と
B 中学校のQ組 30 人が、ある月に読書をした日数を度数分布表に整理したものである。

このとき、次の問いに答えなさい。

(富山 改題)

- ① P 組の5日以上10日未満の階級の
相対度数を求めなさい。

- ② P組について、中央値がふくまれる階級を
答えなさい。

階級 (日)	度数 (人)	
	A中学校 P組	B中学校 Q組
以上 未満		
0 ~ 5	3	2
5 ~ 10	3	5
10 ~ 15	6	12
15 ~ 20	7	8
20 ~ 25	5	8
25 ~ 30	1	5
計	25	40

- ③ 度数分布表からわかることとして、必ず正しいといえるものを、次のア～オから
すべて選び、記号で答えなさい。

ア Q組では読書を15日以上した生徒が20人以上いる。

イ P組とQ組では、読書をした日数が20日以上25日未満である生徒の割合
は等しい。

ウ 読書をした日数の最大値は、Q組の方がP組より大きい。

エ P組とQ組では、読書をした日数の最頻値は等しい。

オ 5日以上10日未満の階級の累積相対度数は、P組の方がQ組より大きい。

解答

① $3 \div 25 = \underline{0.12}$

② 25人の真ん中は13番目

$$3 + 3 + 6 = 12 \text{ より } 13 \text{ 番目は}$$

15 日以上20日未満の階級

③ ア 15日以上は $8 + 8 + 5 = 21$ 人で正しい。

イ P組 $5 \div 25 = 0.2$

Q組 $8 \div 40 = 0.2$ で正しい。

ウ 最大値は分からない。

エ P組 15日以上20日未満が一番多いので 最頻値は 17.5 日

Q組 10日以上15日未満が一番多いので 最頻値は 12.5 日

オ 累積相対度数は

$$\text{P組 } (3 + 3) \div 25 = 0.24$$

$$\text{Q組 } (2 + 5) \div 40 = 0.175$$

よってP組の方が大きいので正しい。

ア , イ , オ